

バルセロナ

学校教育目標「自ら学び 心豊かで たくましい子ども」

学校ホームページURL <http://www.colegiojaponesbcn.net>

平成18年9月1日(金)

バルセロナ日本人学校
広報紙 第200号

実り多い二学期に

校長 増田 正博



バルセロナ日本人学校に明るく元気な子ども達の活気が戻ってきました。夏休みに子ども達は様々なことに挑戦し、たくさんの体験や経験を通して多くの感動を得、一段と成長したことと思います。どのような夏休みを過ごし、どのような思い出ができたのか、今年も話を聞くのが楽しみです。

私のこの夏の収穫の一つは、昨年のアルタミラ洞窟遺跡に続き、ラスコー洞窟遺跡を見学して歴史を実感できたことです。1万6000年前頃の旧石器時代の壁画で世界的に有名なこの洞窟遺跡は、フランス南西部ドルドーニュ地方のモンティニャック村にあります。実際に見学したのは「ラスコー」とよばれるオリジナルに極めて近い複製洞窟でしたが、洞窟の壁や天井には雄ウシ、ウマ、バイソン、シカなどの動物が黒・赤・茶色・黄色で力強く描かれていて、大変感動しました。そこから200m程の所には、壁画保護のため現在は非公開となっている本物の洞窟遺跡が、金網のフェンスに囲まれてひっそりと夏の草木に覆われていました。現地を訪ね、自分の眼で確かめ、旧石器時代人の生活に思いを馳せることができたことは実に貴重な体験でした。

また、本校情報教育部計画の校内PC研修会が3回あり、プレゼンテーションソフトの「パワー・ポイント」の使い方を学ぶことができたことも大きな収穫でした。説明を聞いてやってみるができない、しばし立ち止まって質問してはやってみていくうちにできるようになる。「分かり、出来るようになると、楽しくなる…。」ワード、エクセルにも挑戦してスキルアップできたことも成果でした。

学校は夏休みの期間を利用して、10年ぶりに校舎内の壁の修復塗装をしていただきました。教室・特別教室・準備室・廊下・体育館正面及び両隣の倉庫等、大変明るくきれいになりました。これまで以上に大切に使用していきたいと思えます。

きれいになった校舎でスタートした2学期ですが、今月は小学部低学年がサグラダ・ファミリアで写生会、中・高学年がバストーネス・セビジャーナス体験、中学部が職業体験学習を行います。10月には学芸会が、11月にはイシドロ校・マラガイ校・アンジェレッタ校との現地校交流があります。日々の学習はもちろんのこと様々な行事にも自主的に取り組み、実り多い二学期にできるようにして欲しいと思えます。保護者の皆様のご支援ご協力をよろしくお願い致します。



9月の行事予定

- 4 (月) 児童生徒集会(学部別)、委員会活動
- 6 (水) 給食、クラブ
- 7 (木) 集金日
- 11 (月) カタルーニャの日
- 12 (火) 安全の日、バストーネス・セビジャーナス体験学習
- 13 (水) 給食、クラブ
- 14 (木) 小学部1・2年生写生会、バストーネス・セビジャーナス体験学習
- 15 (金) 中学部職業体験学習
- 18 (月) 児童生徒集会(学部別)
- 20 (水) 給食、クラブ
- 22 (金) 授業参観、学年懇談会
- 24 (日) メルセの日
- 25 (月) 安全の日、学芸会特別時間割開始
- 27 (水) 給食



新しい仲間 9月から小学部に次の

8名の仲間が加わります。児童生徒数は88名になります。

- 小1 板垣 柊吾くん
中沢 玲斗くん
- 小2 前原 栞太くん
- 小3 板垣 咲希さん
- 小5 中沢 友梨南さん
- 小6 池田 遼くん
前原 将希くん
渡部 万里丈くん

みなさん、よろしくね!



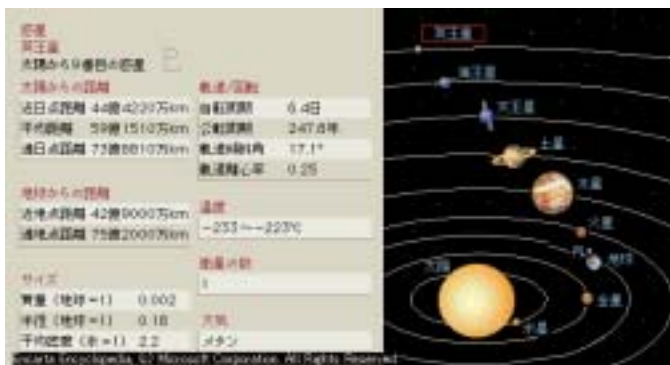
この夏の話題です。ご家庭で子ども達との話題の一つにしていただければ...

「サグラダ・ファミリア」 バルセロナを代表するガウディの手

がけた歴史的建造物です。その専任彫刻家として働いてみえる外尾さんのことをみなさんは知っていますか？ この夏、外尾さんが出版された本を読みましたが、「サグラダ・ファミリア」をはじめとするガウディの作品をもう一度じっくりと見てみたいと思うようになりました。話し言葉で書かれたたいへん読みやすい本です。

「ガウディの伝言」 外尾悦郎 光文社新書

その「サグラダ・ファミリア」で、小学部1・2年生が14日写生会を行います。どんな風に、子ども達が世界文化遺産(「生誕の門」2005年に登録)を描くか、とても楽しみです。



太陽系の惑星は、9個から8個へ！

太陽系の惑星は、これまで教科書などには、太陽に近い順に、水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星、冥王星の9つとされてきました。しかし、惑星の定義は曖昧で、この8月14日からチェコのプラハで開催されていた国際天文学連合(IAU)で、太陽系の惑星の定義について確定されました。その結果、なんと、冥王星が惑星ではなくなってしまいました。日本国内の天文科学館などには、冥王星そのものがなくなってしまうと思った子ども達から、質問が多く寄せられたそうです。太陽系の模型展示物などの前には、冥王星が惑星でなくなった旨などが張り紙で掲示されているようです。

関連情報 Website の一例 <http://www.astroarts.co.jp/special/2006planets/>



暗算十段

7月16日に沖縄県浦添市の全国珠算教育連盟県支部で開かれた第31

4回検定試験で、小学校2年生の男の子が暗算最高位の十段に合格し、全国最年少記録を更新しました。さて、暗算十段の問題ですが、4けたのかけ算、8けたの割り算、見取り算などを3分で各40問ずつ解きます。一問5点で、一つの種目で3問以上間違えると不合格というものです。すごいですね。東南アジアのある国で、日本から贈られたそろばんが、現地の学校で算数教育に生かされているという話を聞いたことがあります。電卓、パソコンの時代にそろばんというのは、古いと一言で片づけてはいけないのでしょうか。みなさんは、暗算で何桁まで足し算できますか？

校舎内の壁面の塗装工事が終わりました。きれいな壁を保つために、次のことに注意していきます。

- 掲示板以外の壁面に、掲示物をセロテープ、ピンなどで留めない。
- 机、イス、ロッカー、給食テーブルなどを壁面にぶつけない。(すぐに傷がつきます。)
- 教室、廊下などで話しているとき、無意識に上履きを壁にあてない。



さあ、2学期のスタートです。学芸会などもあり、忙しい学期になるかと思いますが、何よりも学習にしっかり取り組みましょう。教科学習だけでなく、在外の学校の特徴をいかして、もっと外国語(スペイン語やカタラン語、英会話・英語)の学習に力を入れてみませんか。交流会もありますが、自主的に話しかけることができている児童生徒はとても少ないと感じています。外国語学習は、いかに使うトレーニングを積むかがカギです。学校で学んだことを家でしっかり復習し、毎日反復して言ってみましょう。たとえ、1日1フレーズでも、1週間で5フレーズ(土日はお休み)、4週間で20フレーズを覚えることになります。そのフレーズの語句を入れ替えて、表現のバリエーションを増やせば、もっとたくさんのことが表現できるようになるはず。スペイン語なら、先生だけでなく、ペピーさんやアンヘルさん、バスの添乗員さんやドライバーの人、ピソのボルテロさんなどに一言でも話しかけることができますよね。また、外国語学習には、ご家庭での協力もたいへん重要とBCN市内のあるインター校の通信に書かれていました。

